

平成28年度 八洲学園大学事業計画書

1. 施設の概要

学校名	所有区分	郵便番号	学校（会場）所在地	電話番号	FAX 番号
八洲学園大学	法人所有	220-0021	神奈川県横浜市西区桜木町7-42	045-313-5454	045-324-6961

2. 学生の概要

(1) 設置課程・学科・収容定員・在籍者数一覧（平成28年3月1日現在）

設置学部	学科	入学定員 (人)	編入学定員 (人)	①収容定員 (人)	②正科生 在籍者数 (人)	③科目等 履修生数 (人)	④特修生数 (人)	収容率 (%) ②÷①×100
生涯学習学部	生涯学習学科	800	400	4,000	1,150	902	16	28.8

(2) 平成28年度入学者数・卒業者数・退学者数・除籍者数予測一覧（平成28年度予算予測に基づき記入）

	入学者数	編入学者数	卒業者数（終了者数含）	退学者数	除籍者数	増加予測人数
正科生	50	230	130	30	70	50
科目等履修生	250	—	150	25	30	45
特修生	7	—	3	2	—	2

3. 教職員関係

(1) 平成28年度管理職の概要

職名	氏名	備考（新任・留任等）
学 長	和田 公人	留任
事務局長	鈴木 淳	留任
事務局次長 教務課長	金児 貴弘	新任
総務課長	佐藤 明由美	新任
学生支援センター長 入学支援相談センター長	林 正隆	新任

(2) 平成28年度教職員の概要

		合計（人）
教員	本務	13
	非常勤	51
職員	本務	5
	兼務	5

平均年齢は、教員53.0才、職員40.4才である。

4. 事業の概要

(1) 事業の概要

平成27年度に続き、ウェブを中心とした広報、科目の充実、学生個々の状況に応じた細やかな対応、就職支援による学生満足度の向上などにより、以下の目標達成を目指す（当初予算に対し15%成長を第一目標とする）。

- ・入学者数537名（科目等履修生を含めた人数）を達成する。
- ・学生生徒等学納金（以下、学納金）収入141,035,000円を達成する。
- ・科学研究費などの外部資金獲得、空き教室の貸出事業、公開講座、教員免許状更新講習により、合計16,000,000円（外部資金500,000円、貸会議室6,000,000円、公開講座1,500,000円、教員免許状更新講習8,000,000円）の収入を獲得する。

なお、平成22年度受審の認証評価における指摘事項については、平成27年度に概ね改善が認められた。引き続き、平成26年度学校法人運営調査における指摘事項について、改善状況報告書を平成28年7月8日までに提出する。

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

①主な事業の計画

年度	事項	概要	進捗状況
23～	正科生の入学促進	4学期制による出願機会の拡大、スマートフォン用サイトの充実による若年者への広報強化、対象者に合わせた広報活動などにより、正科生、特に1年次入学の入学者を増やす。	平成23年度より「正科生（資格・リカレント編入学）」導入。 平成26年度より4学期制導入。 平成26年度よりスマートフォン用サイト開設。 平成27年度後半より対象者別「学習のてびき」作成。 平成27年度後半より正科生向けリーフレット作成。

24～	科目の充実	過去の履修状況、学生からの要望、公開講座実績などを参考に、魅力ある科目の新設をはかる。また、既存科目も含め科目の見せ方を工夫することで履修促進につなげる。	平成27年度よりテーマ別、ライフスタイル別の科目案内「科目シリーズ」設定。 平成27年度より「初年次セミナー」新設。 平成27年度より科目評価アンケート実施。 平成28年度より「3年次セミナー」新設。
25～	履修促進	学生支援センターにてメールや説明会による履修促進の呼び掛けを行い、履修登録数を増やす。特に、入学後2年目以降の履修登録率の向上、資格取得後の追加履修増を目指す。	平成25年度より支援センター説明・交流会実施。 平成26年度より新入生へのフォロー強化（郵送、電話、メール）。
28～	休眠学生への対応	学生サポートの効率化のため、休眠学生のうち学習再開の可能性が低い者を選別して除籍処理を行う。対象者のデポジット（預かり金）についても確実な処理を行う。	平成27年度後半より除籍処理開始。
24～	公開講座の充実	図書館司書関連の講座開講に注力し、100講座を最低ラインにその他、多彩なラインナップの公開講座とする。入学や履修の促進にもつなげる。	平成26年度より正規科目の一部を一般の方が受講できる「開放授業」講座を開始。 平成27年度より図書館司書向け講座を開設。
26～	教員免許状更新講習の業務改善	受講者数増加に対応するための業務改善を行う。また、教員免許状更新講習受講者に広報を行い入学促進につなげる。	平成27年度より修了証送付時に社会教育主事および司書教諭のリーフット同封。 平成28年度より「SOBA LMS system」導入（受講設定対応の減少を計画）。

22～	ネットワーク構築計画の実施	他の学校・機関・団体との互恵的ネットワークの企画、構築、運営を行う。特に横浜市西区との共同事業などの地域連携を深める。	平成24年度より西九州大学、東京未来大学と提携。 平成25年度より附属図書館を一般開放。 平成25年度より一般社団法人横浜みなとみらい21と連携 平成26年度より丸善株式会社と提携。 平成27年度より株式会社ヴィアックス、株式会社図書館流通センターと提携。
23～	e-learning system “eLy” 授業配信機能と動画教材の見直し	新システム「SOBA LMS system」を導入し、正規科目の授業配信見直しの準備を進める。eラーニング・スタジオ「Do-Ga Shinjuku」を活用した動画教材の開発を検討する。	平成27年度より「SOBA LMS system」を公開講座に導入。 平成28年度より「SOBA LMS system」を教員免許状更新講習に導入。
26～28	平成26年度学校法人運営調査の指摘事項への対応		平成28年7月8日までに改善状況報告書を提出する。

②施設・設備の整備計画

なし

③授業料変更等

なし

④卒業生数、就業者数、学位授与数の見込みについて（卒業生には終了者も含む、就業者には在学時からの就業者も含む）

	卒業生数	就業者数	学位授与数の見込み
正科生	130	100	45
科目等履修生	150	110	—

⑤ 学生生徒の就職、進学状況について

平成24年度後半より「キャリアコーディネイト室」を設置し、就転職を希望する在学生・卒業生へ就転職セミナーの実施や、メールでの定期的な就職情報配信を行っている。平成27年度はキャリアコーディネイト室の支援により28名の就転職が決定した(3月13日現在)。

大半が社会人学生であることから、既に就職している者も多く必ずしも卒業と同時に就転職を希望するとは限らないが、「キャリアコーディネイト室」の活動が広報に結びつき、入学促進につながっている。

⑥ 教職員採用・退職計画

年 度	事 項	概 要
27	退職予定(専任教員)	准教授1名、専任講師1名(3月31日付)
28	採用予定(専任教員)	専任講師2名(4月1日付)、その他平成28年度中に4名採用予定。
28	採用予定:非常勤講師	非常勤講師7名(4月1日付)、その他随時数名の採用を予定

⑦ 今後の課題について

入学者数・履修者数ともに減少傾向から脱却できる見込みであるが、認証評価でも指摘された正科生の増加と財務状況の改善が最重要課題である。上記4(2)①に挙げた計画を推進することにより課題解決に努めていく。

また、築後28年になる八洲学園大学本館を維持するため、大規模修繕の計画およびその原資となる修繕積立金の計上も今後の課題である。

5. 財務の概要

当初予算案を実現するため、広報費のスリム化などのコスト削減と各分野の収入増を同時に推進し、収入と支出のバランスを注意深くチェックしながら財務計画を進めていく。収入は、学納金および補助活動収入等の合計で前年度比10%増を目指す。支出は、前年度比-3%を目指す。